

とき 平成三十一年三月二十四日(日) 十一時半開会
ところ 中央公民館ホール
津市センターパレス二階

第三回斎藤拙堂 顕彰吟道大会

主催 津市吟剣詩舞道連盟
共催 津市斎藤拙堂顕彰会
後援 津市

来場歓迎
入場無料

俳句の部受賞作

作者 吟詠

津市長賞

拙堂の語り部のごと冬の鴉

山崎艸戊人

児玉龍笙

津市議会議長賞

おぼろ月おぼろに照らす阿漕浦

奥山 功

児玉龍笙

津市教育長賞

本山に身構えて坐し年惜しむ

内田観成

木崎真陽

斎藤拙堂顕彰会会長賞

騎馬像の大満月に対峙せり

若林宏幸

木崎真陽

短歌の部受賞作

津市長賞

拙堂のおくつき訪へばはらはらと

石川裕子

奥田南山

津市議会議長賞

娘と共に結城神社の梅を見し

田中 静

竹村観扇

津市教育長賞

藩校の世も連山に夕陽没る

西沢博子

松本岳照

斎藤拙堂顕彰会会長賞

胸をはり襟を正して潜りしや

山下幸子

久松華由

入徳門に吹く風清し

プロラム

19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1			
独吟	独吟	独吟	詩舞	詩舞	詩舞	独吟	独吟	独吟	独吟	独吟	独吟	独吟	独吟	独吟	独吟	独吟	合吟	合吟			
高雄	春日山懐古	芳野懐古	大漁の魚郷を過ぐ	海を望む	常盤孤を抱くの図に題す	花朝澱江を下る	母を奉じて嵐山に遊ぶ	芳野懐古	撰州路上	母を奉じて嵐山に遊ぶ	春日山懐古	友吾を送りて桑名に到る	茶梅	花期己に近し	舟大垣を発し桑名に赴く	母を奉じて嵐山に遊ぶ	花を惜しむ	花期己に近し			
斎藤拙堂	大槻磐溪	梁川星巖	斎藤拙堂	藤井竹外	梁川星巖	藤井竹外	頼山陽	藤井竹外	頼山陽	頼山陽	大槻磐溪	斎藤拙堂	斎藤拙堂	斎藤拙堂	頼山陽	頼山陽	斎藤拙堂	斎藤拙堂			
西村華久	芦野萌川	坂井明草	藤貴静扇	田平共景	神谷美景	間下正超	草深観雙	津村観耀	和田英治	横山陽泉	小松菅水	五十嵐水櫻	森永江洲	山中淳吟	田中悠真	西川涼真	増田恵紫	米田嬌山	谷口紫山	腰山紫	谷口紫山
錦水流	耕道会	耕道会	藤貴流	藤貴流	藤貴流	正洲会	奉観流	奉観流	津岳風会	津岳風会	水洋流	水洋流	水心会	水心会	真山流	真山流	山水流	山水流	山水流	山水流	山水流
8	7	7	テ	テ	テ	3	7	8	2	1	8	4	3	3	6	6	7				3
38	37	36	35	34	33	32	31	30	29	28	27	26	25	24	23	22		21	20		
独吟	独吟	独吟	独吟	詩舞	詩舞	独吟	独吟	独吟	独吟	独吟	独吟	独吟	独吟	独吟	独吟	独吟		合吟	合吟		
丁巳新歳の作	茶磨山上孤王の祠あり	平泉懐古	芳野懐古	春暁	平泉懐古	桜祠に遊ぶ	芳野懐古	芳野	常盤孤を抱くの図	芳野	花朝澱江を下る	嵐山に遊ぶ	長谷寺に登る	舟大垣を発し桑名に赴く	芳野懐古	禁門を過ぐ		芳野懐古	龍門の里を過ぐ		
斎藤拙堂	斎藤拙堂	大槻磐溪	藤井竹外	日柳燕石	大槻磐溪	広瀬旭荘	藤井竹外	藤井竹外	梁川星巖	斎藤拙堂	藤井竹外	斎藤拙堂	斎藤拙堂	頼山陽	藤井竹外	斎藤拙堂		藤井竹外	斎藤拙堂		
土方泓水	内藤進翠	増田淙山	米川滉山	藤貴澄扇	藤貴蔦扇	赤塚奉裕	内田観成	笹山峻岳	渕脇博風	山口泉水	川本信水	水谷千祥	河村敬城	田矢征山	長嶋紀美子	若林醉山		家崎新山	奥田邦山	北山銀山	増井華裕
錦水流	錦水流	耕道会	耕道会	藤貴流	藤貴流	奉観流	奉観流	津岳風会	津岳風会	水洋流	水洋流	水心会	水心会	真山流	真山流	山水流		山水流	山水流	山水流	錦水流
5	水1	8	2	テ	テ	3	6	3	2	8	6	2	3	2	7	1		6			5

59	58	57	56	55	54	53	52	51	50	49	48	47	46	45	44	43	42	41	40	39	
独吟	合吟	独吟	独吟	独吟	独吟	独吟	独吟	独吟	独吟	詩舞	独吟	独吟	独吟	独吟	独吟	独吟	独吟	独吟	独吟	独吟	
菊を 買う	茶磨山莊と 狐さん	嵐山に遊ぶ	平泉懐古	長谷寺に登る	新しい荷	芳野	長谷寺に登る	平泉懐古	常盤孤を抱く の図に題す	芳野懐古	失題	常盤孤を抱く の図	長谷寺に登る	阿漕浦	春莊夜の図	花売の声を聞く	四十七士	芳野懐古	伊勢道中図に 題す	平泉懐古	
斎藤拙堂	加藤龍宗	斎藤拙堂	大槻磐溪	斎藤拙堂	斎藤拙堂	斎藤拙堂	斎藤拙堂	大槻磐溪	梁川星巖	梁川星巖	横井小楠	梁川星巖	斎藤拙堂	斎藤誠軒	斎藤拙堂	斎藤拙堂	大塩平八郎	藤井竹外	斎藤拙堂	大槻磐溪	
豊田龍倭	高倉龍富	富田龍陽	石野真風	種田穂真	田辺早山	勝真茜山	菊川楓翠	山本華幸	服部風山	川中梨山	藤貴廸扇	澤田岳澄	山口松岳	津島秀水	山本要雲	西田煌龍	喜田恭祥	中野真詠	世古真玄	梅田峻山	上島東山
水心会	水心会	真山流	真山流	山水流	山水流	錦水流	錦水流	耕道会	耕道会	藤貴流	津岳風会	津岳風会	水洋流	水洋流	水心会	水心会	真山流	真山流	山水流	山水流	
7	7	3	6	5	7	水1	6	7	7	テ	5	3	7	4	8	6	2	水1	2	3	

6	5	4	3	2	1			
山頂より清溪を望む	仙界の境	梅溪を下る	終日梅を観る	月下に碧岑に立つ	掀篷の図に和す			
加藤龍宗	種田真山	米田豊山	内藤華博	内藤奉悠	西田徳水	島山岳裕	谷景山	久森正詠
水心会	真山流	山水流	錦水流	奉観流	水洋流	津岳風	耕道会	正洲会
3	2	6	3	2	1			

66	65	64	63	62	61	60	
独吟	独吟	独吟	独吟	独吟	合吟	独吟	
楠公子に訣する の図に題す	晚帰所見	母を奉じて 嵐山に遊ぶ	海を望む	公桃林を観る	月ヶ瀬に遊ぶ	早に津城を発す	
頼山陽	斎藤拙堂	頼山陽	藤井竹外	斎藤拙堂	斎藤拙堂	斎藤拙堂	
久松敬翠	田中栄翠	坂森幸山	加藤怜山	葛山峰山	山野弘雲	海老原菊水	神田清水
錦水流	錦水流	耕道会	耕道会	耕道会	水洋流	水洋流	
2	2	7	8	3	8	7	

構成吟
月ヶ瀬に遊ぶ
月ヶ瀬記勝より
構成 加藤龍宗

大会次第

一、開会の辞	米田豊山
一、会員吟剣詩舞	
一、式典	
一、会長挨拶	種田真山
一、大会顧問挨拶	加藤龍宗
一、御来賓挨拶	津市市長 前葉泰幸 斎藤正和
一、俳句・短歌表彰	
一、俳句・短歌選者講評	
一、俳句・短歌朗詠	
一、構成吟	
一、会員吟剣詩舞	
一、閉会の辞	畠山岳裕

大会役員

一、大会会長	種田真山
一、大会副会長	畠山岳裕
一、実行委員長	米田豊山
一、大会顧問	加藤龍宗 斎藤正和 中川禎二
一、大会総務	西田徳水 久森正詠 平尾劍鵬 内藤奉悠
一、受付	内藤華博 藤貴静扇 谷景山 豊田龍倭
一、司会	西田徳水 山本要雲
一、進行会	富田龍陽 高倉龍富
一、進捗行	畠山岳裕 松本岳照
一、音響・伴奏	<small>シンセサイザー</small> 尺八 児玉龍笙 石野真風 上島東山
一、舞台	木崎真陽 中野真詠
一、会場	内藤奉悠 赤塚奉裕
一、接待	内藤華博 坂森幸山 奥田南山 米田嬌山
一、大会会計	米田豊山
一、大会事務局	内藤奉悠

大会役員は10時集合にて会場設営・諸準備願います。